

2024年度 自己点検・自己評価報告書

2025年6月23日現在

学校法人 二葉総合学園

吉祥寺二葉栄養調理専門職学校

2025年6月23日作成

※ 旧 学校法人古屋学園 二葉栄養専門学校
2022年4月1日 法人名および学校名変更

目 次

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等	1	基準 4 教育成果	24
1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	2	4-18 就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	25
1-2 学校の特色はなにか	3	4-19 資格取得率の向上が図られているか	26
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	4-20 退学率の低減が図られているか	27
基準 2 学校運営	5	4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか.....	28
2-4 運営方針は定められているか	6	基準 5 学生支援	30
2-5 事業計画は定められているか	7	5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	31
2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	8	5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか.....	32
2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	9	5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	33
2-8 意思決定システムは確立されているか	11	5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	35
2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか.....	12	5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	36
基準 3 教育活動	13	5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか.....	37
3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	14	5-28 保護者と適切に連携しているか	38
3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	15	5-29 卒業生への支援体制はあるか	39
3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか	16	基準 6 教育環境	40
3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	17	6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	41
3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか.....	18	6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか.....	42
3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	19	6-32 防災に対する体制は整備されているか.....	43
3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	22	基準 7 学生の募集と受け入れ	45
3-17 資格取得の指導体制はあるか.....	23		

7-33	学生募集活動は、適正に行われているか.....	46
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか.....	47
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか.....	48
7-36	学納金は妥当なものとなっているか.....	49
基準 8	財務.....	50
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか.....	52
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか.....	53
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか.....	54
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか.....	55
基準 9	法令等の遵守.....	56
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか.....	57
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか.....	58
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか.....	59
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか.....	60
基準 10	社会貢献.....	61
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか.....	62
10-46	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか.....	65

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の教育理念・目的・育成人材像は明確で具体的に示されており、学生や教職員等学校関係者だけでなく学外にも公表されている。</p> <p>「介護職員初任者研修」（2021年度より他企業での研修に参加する方法により実施）修了証、栄養士・調理師の両資格を取得できる実践栄養コース、調理師科グランシェフコース（調理師科終了後、学内進学制度にて姉妹校である二葉製菓学校に進学し、製菓、製パン技術の習得をする）の設置など幅広い資格、技術を身に付けた職業人の養成は本校の特色である（各コースは学園内進学システム）。</p> <p>少子化や社会のニーズに対応すべく、調理師科では1年養成課程に加えて2年養成課程の設置を申請し、2015年度より調理実践科として設置認可され、2018年2月、職業実践専門課程（文部科学省）として認可された。今後創立90周年に向けて、変化する社会に適応しより充実した学びの場を提供するため、新学科の設立を視野に入れた学科の再編成等、新たな方向性を検討することとなった。</p> <p>入学後の進路変更のニーズに対応し、編入学や転科制度を積極的に進めている。</p>	<p><建学の理念> 「涵養の精神と職業人としての自立」</p> <p><建学の精神></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高度な専門知識及び技術の習得 2 徹底した実践教育 3 人間性豊かな明晰なる感性の涵養 <p><中期的構想></p> <p>「学校品質向上5ヵ年計画」終了（2010年4月～2015年3月）</p> <p>「新世二葉」中期計画（3ヵ年計画）終了（2015年4月～2018年3月）</p> <p>「新世二葉セカンドステージ」～2ヵ年計画～（2018年4月～2020年3月）</p> <p>「FUTABA 中期計画」3ヵ年計画（2020年4月～2023年3月）</p> <p>「FUTABA 中期計画」3ヵ年計画（2023年4月～2026年3月）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2023年3月より2025年3月まで段階的にエアコンの改修工事 2. 新学科および科学的実験、検証のための委員会設立（2023年度） 3. 製菓校の授業の見直し 4. 栄養校の授業の見直し 5. 理事会・評議員会の役割の見直し <p>2024年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創立90周年記念事業準備委員会立ち上げ 2. VR活用実験開始 3. 教職員向け基礎講座・セミナーの体系的取組 4. ガバナンス改革 5. 個々のパーパスの確立と浸透 何をするために二葉に入職したのか？ 何を目標としているのか？

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	明確、具体的に定めている。	理念・目的・育成人材像について学則・設立趣意書等で示している。	特になし。	・「管理栄養士学科設立趣意書」 ・「学則」 ・「入学案内」
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	カリキュラムの工夫と各種資格の取得等による専門性の特化を図っている。	理念等を反映した各科の授業編成、コース制の導入、特別講座による資格取得等を実施している。	特になし。	・「入学案内」 ・「授業編成表」
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	時代の動向、社会の要請の変化に対応した見直しを適宜行っている。	管理栄養士学科および調理実践科の設置、コース制の見直し等（グランシェフコース、実践栄養コース）を実施している。	時代の変化を反映すべく、編入・転科制度の導入を検討している。新学科の設立を含めた新たな方向性を検討することとなった。	・「管理栄養士学科設立趣意書」 ・「入学案内」 ・「学則」
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	学内外で周知の徹底を図っている。	学内に「建学の精神」を掲げている。ホームページで理念等を紹介している。	建学の理念や育成人材像についてより積極的な周知を図る。	・「入学案内」 ・「ホームページ」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念、目的、育成人材像は具体的かつ明確に示されているので、周知すべき内容については特段の問題はない。理念・育成人材等の実現に努めている。教育目的や育成人材像については適宜見直すこと、また理念等の一層の周知を図る。	「建学の精神」や「建学の理念」は教育の理念・目的でもある。時代の変化に合わせ見直しを行うなかで、2020年度から「FUTABA 中期計画」として3か年計画を定め実施している。現在は2023年度からの新たな「FUTABA 中期計画」を遂行中である。創立90周年に向けて、社会の変化に柔軟に対応するため、新たな方向性を検討することとなった。

最終更新日付

2025年6月23日

記載責任者

小川 万紀子

1-2 学校の特色はなにか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-5 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	最新の設備を備えた教育環境の充実。 ダブル・トリプルライセンスの取得。	介護職員初任者研修、実践栄養コース、調理師科グランシェフコースの設置による各種資格・専門技術の付与・習得。	特になし。	・「入学案内」 ・「授業編成表」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
介護職員初任者研修、栄養士・調理師の両資格を3年で取得する実践栄養コースの導入、調理師科グランシェフコースにおける製菓・製パン技術の習得等柔軟で幅広く対応できる職業人を養成している（介護職員初任者研修は、2021年度より他企業での研修に参加する方法により実施）。	姉妹校として併設している吉祥寺二葉製菓専門職学校を活用した2年制のグランシェフコースは本校の目玉コースであり、その特色は高く評価されている（各コースは学園内進学システム）。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	4	中期的構想のもと教育環境整備に努め、成果を出している。	2020年度より、新たにFUTABA中期計画（3か年）を定めており、2023年度より新たな計画を策定、遂行中である。	全学科での定員確保が急務となっている。社会の変化に適應するため、学科再編成を含め、新たな方向性を検討することとなった。	・FUTABA中期計画（3か年）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中期的構想に基づき、ハード面の環境整備や教員のスキルアップ等さらなる教育の質の向上を図っている。	少子化、同職種養成校の増加ならびに大学全入時代の到来により全学科での定員確保が最重要課題である。創立90周年に向けて、社会変化に適應した新たな方向性を検討する必要がある。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>中期計画・事業計画に基づき、厚生労働省指定の下、栄養士、管理栄養士、調理師養成施設（学校）として適切な運営に努めている。</p> <p>学校運営は明確な組織化と職務分掌に基づき実行されている。さらに組織運営及び意思決定の実効性をより高めるべく、今後一層の工夫と努力が必要である。</p> <p>少子化に伴う学校運営に於いて、2002年度に管理栄養士学科を開設、2010年の校舎新築等により新しい教育環境、人材育成環境の充実を図っている。しかし人事面では、中・長期的な採用計画を立てることが困難となっている。</p> <p>2020年度から FUTABA 中期計画として3か年計画を学園で策定。2023年度より新たな FUTABA 中期計画を策定、遂行中。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「法人組織図」 2 「校務分掌」 3 「学校品質向上5カ年計画」終了 4 「古屋学園奨学金貸与規定」 5 「学籍管理システム」 6 「新世二葉」中期計画(3カ年) 終了 7 「新生二葉セカンドステージ」～2カ年計画～策定 8 FUTABA 中期計画（2020年4月～2023年3月） FUTABA 中期計画（2023年4月からスタート、3か年）

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

2-4 運営方針は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	5	運営方針は明確にされている。	年度事業計画・中期計画等の策定及び年度当初会議での運営方針の説明。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校品質向上5か年計画」 ・「新世二葉」中期計画(3か年) ・「新世二葉セカンドステージ」～2か年計画～ ・FUTABA 中期計画(3か年)
2-4-2 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	5	運営方針を適宜伝え、周知徹底している。	事業計画等を運営会議、科内会議等各種委員会・会議で報告、検討している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「各種委員会・会議議事録」 ・「運営会議議事録」 ・「科内会議議事録」 ・「課内会議議事録」 ・「定例会議事録」
2-4-3 学校運営方針を基に、各種諸規定が整備されているか	5	必要な規定はほぼ整備されている。学校運営に特に支障はない。	適宜、見直し・整備を心がけている。	特になし。	・「各種委員会等規則・規定」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
学校運営方針は中期計画を基に毎年度明確に定められ、教職員に示されている。「FUTABA 中期計画」(2023年度より3か年の計画)の重点項目一覧ならびに単年度計画を校内に掲示し、常時確認できる体制をとっている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

2-5 事業計画は定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	年度毎の計画を定めており、教職員に提示している。	年度毎の事業計画、年間行事予定表。	特になし。	・「事業計画」 ・「年間行事予定表」
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	5	事業計画は適切に運営されている。	事業計画の実施は各種会議等で常時検討している。	特になし。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
事業計画は、年間行事計画および予算企画案に基づくヒアリングの実施により、適切に運営されている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-6-6 運営組織図はあるか	5	法人組織図がある。	「法人組織図」。	特になし。	・「法人組織図」
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	5	組織図等に基づいた会議の開催により、組織運営及び意思決定を行っている。	法人理事会、評議員会、定例会及び諸会議の開催。	特になし。	・「理事会議事録」 ・「評議員会議事録」 ・「定例会議事録」 ・「運営会議議事録」 ・「科内会議議事録」 ・「課内会議議事録」
2-6-8 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	5	校務分掌により明確になっている。	「校務分掌」。	特になし。	・「校務分掌」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は「法人組織図」、「校務分掌」に基づき実行されているが、より機能性、実効性を高めるために、意思決定機能を強化させる必要がある。	グループウェア導入により、業務の効率化につながることを期待できるが、いまだに活用できていない部分もある。情報共有の意識をより一層喚起する。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	採用責任を明確にし、人事考課項目と連動した面接評定書を備える採用稟議書制度に則り、公募による人材確保を行っている。	採用段階と入職後の人事考課とを連動させることで人材目標を明確にしている。PC スキル、ハラスメントなどの研修会を実施した。	人材目標の具現化。採用・教育・配属・評価・処遇の一連の流れを全教職員の共通理解としていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「人事考課制度」 ・「採用稟議書」 ・「人事異動申請書」 ・「退職面談票」
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	評価結果が昇給・昇格に直結する人事考課制度を整備した。	給与体系・昇給・昇格と相互にリンクする人事考課制度へ改定して2年が経過するが特段の問題は発生していない。	職種毎に分類された評価項目となっているが、大学をはじめとして専門学校を取り巻く環境が変化している。変化対応するためにチャレンジできる人材目標を考課項目の比重を高める必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・「建学の理念」 ・「中期経営計画書」 ・「学校事業計画」 ・「成長育成シート」 ・「人事評価制度ガイドブック」 ・「職務要件記述書」
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	4	職群・等級毎に職務要件記述書を整備してキャリアパスを明確にした。	各校長と協議して策定したキャリアパスを評議員会・理事会で決議し、全教職員に展開している。新たに「人事評価制度ガイドブック」・「職務要件記述書」をグループウェアで共有した。	成長育成シートの浸透による、公正性・納得性の担保および内発的動機付け。等級毎に必要な教育研修を定義して包括的な人事制度を構築していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「人事考課制度」 ・「賃金制度」 ・「昇進昇格制度」 ・「人事異動申請書」 ・「人事評価制度ガイドブック」 ・「職務要件記述書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題と方向	参考資料
2-7-12 賃金制度は整備されているか	4	評価結果が昇給・昇格に直結する賃金制度を整備した。	改定した人事評価制度と直結として整備された。 賃上げと法人の永続性に留意して、昇給原資を理事会決議とする仕組みが始動した。	評価結果による昇給額は一般的になだらかで有意な差異はない。原資が限られる中、公平性を鑑みた評価と昇給額となるようリバランスが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・「人事考課制度」 ・「賃金制度」 ・「昇進昇格制度」 ・「就業規則」 ・「給与規程」 ・「人事評価制度ガイドブック」
2-7-13 採用制度は整備されているか	5	採用制度とそれに伴うフローは確立・整備されている。	就業規則を根拠として、採用フローに関連する帳票類も整備されている。 その他、正職員登用制度も整備されている。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・「就業規則」 ・「採用稟議書」 ・「給与規程」 ・「面接評定票」 ・「成長育成シート」
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	明確に把握している。	増減発生があった場合、その都度、組織図をメンテナンスし、グループウェアで共有している。	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・「法人組織図」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現行制度に改定され2年が経過した。昇給原資を理事会決議とするなど滞りなく運用できるようになった。	財務状況と社会情勢を鑑みた給与体系と評価項目のメンテナンスが必要と思料する。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	理事会を頂点とし、各会に於いて検討決定実施のシステムが整備されている。	理事会、評議員会、定例会、運営会議、科内会議、課内会議の実施。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「理事会議事録」 ・「評議員会議事録」 ・「定例会議議事録」 ・「運営会議議事録」 ・「科内会議議事録」 ・「課内会議議事録」
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	同上	同上	同上	同上
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か、学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	階層・権限等のシステムは明確である。人材育成についてはいまだ完成には至っていない。	「法人組織図」に示す通り、各部署の管理職者の人材が不十分である。	意思決定・システム運営に適している人材の確保、および教員育成のさらなる充実。	・「法人組織図」

5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定のシステムは確立されている。各部署において責任を果たせる人材育成が完成されていない。学校運営の中核に必須な人材育成が急務の課題である。	人材育成には多くの時間がかかるが、2024年度は途中ではあるが育成を進められている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	4	情報システム担当者を配属し IT 機器の整備・管理・運用に努めている。 学生ポータル掲示板を導入し、学生への情報伝達の手速を速めている。	情報ネットワークの整備及び「学籍管理システム」の導入・運用を図っている。 学生ポータル掲示板を導入し、各学生がスマートフォンにて伝達事項をすぐに見られるようになり、担任の負担の軽減となっている。	システム運用のさらなる向上と適任なる人材の確保・育成。 学生ポータル掲示板の未読者がいまだに存在するので、周知徹底を強化する。	・「学籍管理システム」 ・「IT 関連研修会報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
情報システムの整備・有効活用に努めており、業務の効率化により校務運営および教育・授業等の向上が図られている。	情報システム担当者を配置している。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

基準 3 教育活動

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育目標、育成人材像は業界の人材ニーズを反映するなど適切なものになっており、カリキュラムも目標達成に向けた適切な内容になっている。各学科の教育内容は関係法令に則った適正なものになっている。</p> <p>資格要件を備えた教員を配置しており、さらに各教員の授業評価・授業見学を実施してスキルアップの向上に努めている。</p> <p>成績評価（GPA による評価は現時点では実施していない）・単位認定は明確な基準に基づき適正に行われている。</p> <p>取得できる各種資格は学科ごとに明確化しており、資格取得のサポート体制も整っている。</p>	<p><各種資格取得></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士国家試験受験資格：管理栄養士(学)科卒業（栄養士科卒業後、満 3 年間の実務経験後） ・栄養士免許：栄養士科卒業(専門士)、管理栄養士(学)科卒業(高度専門士) ・調理師免許：調理師科卒業、調理実践科（2 年養成）卒業（専門士） ・栄養士免許・調理師免許：実践栄養 3 年コース卒業 ・「介護職員初任者研修」修了証：東京都介護職員初任者研修講座修了者（2021 年度より他企業での研修に参加する方法により実施） ・「食育栄養インストラクター」認定証：栄養士科・管理栄養士(学)科 栄養士実力認定試験 A 判定者 ・「家庭料理技能検定」合格証：家庭料理技能検定（級別） 筆記、実技試験合格者 ・「フードコーディネーター」3 級資格認定証：本校調理師科は日本フードコーディネーター協会認定校指定を受けているためカリキュラム修了者 ・食品技術管理専門士：調理実践科卒業生 ・「管理栄養士国家試験対策委員会」の設置 ・「学外実習センター（栄養士科・管理栄養士(学)科対象）」の設置

最終更新日付

2025 年 6 月 23 日

記載責任者

小川 万紀子

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-10-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	業界のニーズを極力反映するよう努めているが、業界が求めている人材像（例：即戦力となる人材）との温度差は否めない。	設立趣意書や入学案内等で明記している。学外実習の重視、特別講師の学内実習等で確認している。また、学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会での意見も参考としている。	企業等と連携した教育編成の実施に向けた取り組みを強化する。学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会では出された意見を各学科で共有し、授業に反映させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「設立趣意書」 ・「入学案内」 ・「授業編成表」 ・「教育課程編成委員会議事録」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の教育目標、育成人材像は極力業界の人材ニーズを反映させているが、より一層の業界の動向やニーズの把握に努める。	栄養士科卒業後の調理師資格、調理師科卒業後の製菓・製パン技術の習得、全学科での介護職員初任者研修の修了証が取得できる（介護職員初任者研修は2021年度より他企業での研修に参加する方法により実施）。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	5	明確に定められている。	目標等達成可能なレベルを学則、入学案内、シラバス等で示している。管轄省庁からの改定にともない、見直しと改善を行う。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学則」 ・「入学案内」 ・「授業編成表」 ・「シラバス」 ・「教育課程編成委員会議事録」 ・「コアカリキュラム」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各学科の教育目標、人材育成を達成するために必要な知識や技術等の教育内容・レベルと修業年限は明確に定められており、公表されている。	特になし

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-12 カリキュラムは体系的に編成されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	5	十分な内容を持ち体系的に編成されている。	授業科目、教育内容、単位数が明確に決められている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学則」 ・「入学案内」 ・「授業編成表」 ・「シラバス」
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	3	外部者の意見を極力反映すべく努めているが、改善の余地が認められる。	カリキュラムの見直し、授業内容の決定では外部の学識経験者等の意見を聴取している。	外部者(有識者)、非常勤講師を含む委員会(カリキュラム検討委員会)の設置を進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育課程編成委員会議事録」 ・「学校関係者評価委員会議事録」
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	5	必要に応じて適宜、編成体制をとっている。	カリキュラムを改正する際には、都度「カリキュラム検討委員会」を組織し、新カリキュラム編成を行っている。	編入学、転科を視野に入れ、外部の有識者を含めた新たな「カリキュラム検討委員会」の設立、およびカリキュラム改正を今後も進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「シラバス」 ・「カリキュラム検討委員会資料」 ・「新カリキュラムによる新学則」
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	5	適宜検討し、早期見直しを目指している。	必要に応じて「授業編成検討会」を行っている。	「カリキュラム検討委員会」を主軸に、編入学、転科が迅速に実施できるカリキュラムを作成し、2022年度より新カリキュラムを導入している。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
カリキュラムは目標達成に向けた十分な内容を持ち、かつ体系的に編成されている。カリキュラムの編成にあたっては、外部の学識経験者等が参加した委員会を組織して行っている。2021年度は、編入学、転科制度の導入ならびに学外実習実施年次を早める目的で、カリキュラム(開講科目、開講年次、各学科での単位互換等)を全面的に見直し、2022年度より新カリキュラムを導入している(完成年度は2025年度)。	管理栄養士(学)科と栄養士科の開講科目の互換性を精査することにより、編入学・転科がスムーズに実現できるように、編入学規定、転科規定の整備を行った。他校からの管理栄養士科への編入学規定の整備も進めている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	5	学科の教育目標に沿った十分な内容と体系的編成のもとに設定されている。	授業科目、教育内容、単位数が明確に決められている。継続した見直しと改善を行う。	特になし。	・「学則」 ・「入学案内」 ・「授業編成表」 ・「シラバス」
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	必要項目を記載したシラバスを完備している。	毎年度、シラバスの見直しをしている。継続した見直しと改善を行う。	特になし。	・「シラバス」
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	5	必要項目を記載したシラバスを完備し、学生の予習に役立つものとなっている。	特になし。	特になし。	・「シラバス」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各科目はカリキュラムで適正に位置づけられ、かつシラバスも完備している。シラバス上に、実務経験内容を明記し、該当科目と社会での職域貢献が結びつくようにしてある。	社会人として身につけておくマナー等を習得するため、「就職セミナー」、「マナーセミナー」、「テーブルマナー」を開講している。各分野で活躍している卒業生を特別講師として招き、より実践的な授業（座学・実習）を開講し、職業人の意識向上を目指している。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	毎年実施している。2020～2021年度はコロナ禍のためほとんど対面授業が実施できず未実施であったが、2023年度より全学科すべての授業を対面授業に戻したため、前期・後期とも全開講科目について実施している。	前後期・全開講科目を対象に授業アンケートを実施している。リフレクションシートの内容を精査し、必要に応じて、校長、学科長による授業見学を実施し、個別指導を強化する。 学生アンケート結果をもっても改善が認められない教科については担当教員の変更も検討する。	2024年度は、学生の回答率向上のため、記名式アンケートに変更したところ回答率が向上した。	・「学級日誌」 ・「科内会議資料」 ・「授業評価アンケート結果（図書室で閲覧可）」
3-14-11 授業内容の設計や教授法等の現状について、その適否につき学科や学校として把握・評価する体制があるか	5	実施している。	校長、学科長による授業見学、校内研修会を複数回実施している。 成長育成シートにおける目標設定、達成状況についての面接等を複数回行い評価している。	成長育成シート、面接、校内研修会等をとおして、シラバスや教授法等についての評価体制の構築を行い、課題解決に努めている。	・「科内会議資料」 ・「校内研修レジュメ」 ・「成長育成シート」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生に対する授業アンケートを実施し、結果の分析を行い、教員にはリフレクションシートの提出を義務づけており、必要に応じて担当教員の変更も実施している。授業内容の設計や教授法等の把握・評価については適宜行っているが、今後、学科ないし学校としての制度的・体制的实施方法について検討する。	今後も継続して授業評価アンケートを実施し、授業内容および教授法の現状把握に努め、向上させる資料とする。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件（専門性・人間性・教授力・必要資格等）を備えた教員を確保しているか	5	専門性、資格等必要条件を備えた教員を確保している。	「教員調書」（学歴、職歴、資格、著書・学術論文等記載）を備え、確認している。	研究論文発表の支援の一つとして学内紀要の発刊を計画し、委員会を立ち上げ準備している。	・「教員調書」 ・「教員一覧」 ・「講師一覧」
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	5	専門性のレベルは極力業界のニーズに対応すべく努力している。	教員・講師の採用に際しては、専門性のレベルやフレッシュ度（時代遅れではない）の観点から職歴、更新期間等に配慮している。	特になし。	・「教員調書」
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	5	校長や学科長等による教員の専門性の把握と評価を適宜している。	特に授業成果に問題が見られる教員について事情聴取と評価・指導を行っている。	特になし。	・「教員調書」 ・「履歴書と研究業績」
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	4	教員の学会、研修会、研究会等への参加を積極的に支援しており、多くの教員が参加している。調理師科では、学外の調理現場にて技術向上を実施。	栄養士科は各種研修会・研究会や大学等との共同研究への参加、大学院進学等に対する推進体制ができています。調理師科は、専門分野のコンクールに積極的に参加し、スキルアップの客観的評価をしている。	すべての教員が専門性の向上につながる学会などへの積極的参加を業務の一つとして取り組んで行くことによりスキルアップにつなげる。	・「学会・研究出張等に係る運用細則」 ・「抄録等」 ・「意見書」 ・「教員研修会収録集」 ・「学術研究発表会抄録」 ・「参加コンクール報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	5	校長、学科長等による教員の教授力の把握を必要に応じて行っている。	特に問題が見られる教員について事情聴取と評価・指導を行っている。	特になし。	・個別面談票 ・リフレクションシート
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	4	教授力の向上目的に、教員には、学外研修会への積極的参加を促しているが、時間的余裕がなく、参加できる教員は限られている。	学校としての協力体制は出来ている。	研修等教授力向上のための研修企画を各教員が立案し、積極的に参画する。栄養・調理とともに各分野のスキルアップできる研修会を模索し該当教員に参加を促す。	特になし。
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	5	必要に応じ、教員間での協力・協業は行われている。非常勤講師との協業を目標に、講師会を開催した。	定期的な「科内会議」「各種委員会」において、情報交換のほか教育面等での協力・協業について協議している。	常勤は協業できている。非常勤講師との協業体制の構築を図るため、定期的に講師会を開催する。	・「科内会議議事録」 ・「国家試験対策委員会議事録」 ・「講師会資料」
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	4	非常勤講師間協業は、専門性が異なるので、十分ではないが、関連性の深い科目間での協業は行っている。	専任の教員の仲介により、非常勤講師間でのシラバスや授業内容の調整は行っている。	専任教員の仲介により、関連のある科目間において、情報交換や協力ができる体制構築を検討する。定期的に講師会を開催し、情報交換を行う。	・「シラバス」 ・「講師会資料」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付

2025年6月23日

記載責任者

小川 万紀子

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	5	規則に定める基準に照らして選任している。 公募採用よりも、知人ならびに知人からの紹介によるものが多い。	非常勤講師の採用に際しては学歴、教育歴、職歴（特に実務経験歴）、学術的研究業績等を精査している。	採用基準に従って採用しているが、実務経験者の採用に関してはどうしても高年齢層に偏っている（定年退職後の採用が多いため）。知人などからの情報を密にして、 possible の限り、年齢層を若くするよう努力する。 また、他の専門学校との間で、「学・学連携」締結に向けての整備を進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「厚生労働省 教員資格規定」 ・「採用時面接報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門性、資格等必要条件を備えた教員を確保するとともにその専門性は業界のレベルに対応すべく努力している。校長、学科長による教員の専門性の把握を適宜行っている。教員の専門性の向上のため研修会等への参加は積極的に支援している。教員の教授力の把握と向上対策を今後積極的に行う必要がある。非常勤講師間での正式な協業体制の構築については、定期的に講師会を開催し体制構築を進めていく。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	明確になっている。各基準は教職員、学生に周知されている。	成績評価、単位認定の基準は明確に規定されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学則」 ・「卒業・進級審査規定」 ・「修了認定等に関する規定」 ・「学生便覧」
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	調理師科では基準は明確になっている。	当該規定を適切に適用している。	栄養士科・管理栄養士(学)科での単位互換制度を運用できるよう規定の整備を進めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・「調理師養成施設指導ガイドライン」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>成績評価・単位認定の基準は明確に規定されており、単位認定審査及び進級・卒業審査はこの基準に即して行われている。</p> <p>調理師科として、専門学校・短大・大学との単位の互換について基準を設け、適用している。なお、栄養士科・管理栄養士(学)科は単位互換をしていなかったが、新カリキュラム導入により、単位互換の制度を実施できるよう規定を整備している。</p>	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	各資格は明確に定められ、周知されている。	取得できる資格は学科やカリキュラムごとに明記されている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学則」 ・「入学案内」 ・「ホームページ」
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	資格取得を十分サポートできる教育内容・体制がとられている。	<p>管理栄養士養成では「国家試験対策委員会」を編成、「特別対策講座」を定期的に関講し、必要に応じて個人指導を実施している。</p> <p>調理師科養成では通常の授業に加えて、「日本」「西洋」「中国」等の各料理ごとに研究室を設置、技術強化・向上の指導にあたっている。</p>	調理師科で実施している研究室は、コロナ禍以降は開講していない。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校校務分担表」 ・「管理栄養士国家試験対策委員会規定」 ・「入学案内」 ・「調理師科研究室規定」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
取得できる各種資格は各学科やそれぞれのカリキュラムごとに明記されている。資格取得のためのサポートは、教育内容でもまた体制上でも十分できている。特に管理栄養士の養成では「国家試験対策委員会」を編成するなど万全を期している。	管理栄養士国家試験対策として、成績不振者に対しては放課後、夏期休暇、冬期休暇等を利用して個別指導を実施している。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

基準 4 教育成果

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>専門学校役割として、その専門の職種に就けるかが教育成果の要である。</p> <p>就学学科により取得免許が異なり、卒業時には、管理栄養士(学)科は栄養士免許と管理栄養士の国家試験受験資格と高度専門士の称号、栄養士科は栄養士免許と専門士の称号、調理師科は調理師免許、調理実践科（2年養成）は調理師免許と専門士の称号を取得できる。</p> <p>その教育成果として、卒業に際しては栄養士もしくは調理師の免許が申請により100%取得できるようになっている。管理栄養士(学)科の管理栄養士国家試験受験者の合格率は高率を維持してきたが、2023年度は合格率が大幅に低下、2024年度は回復傾向であるが未だ十分とは言えない。</p> <p>また、卒業生の大半は、学校を卒業することによって取得できるライセンスを生かす専門職に従事している。</p>	<p>外部講師を招き、就職活動の心構えを踏まえたクラス単位によるキャリアガイダンスを実施している。</p> <p>卒業生を招き、講演や特別授業を通じて実際の仕事の内容や状況を伝える機会を設けるよう努めている。</p> <p>卒業にて取得したライセンスをより高められるよう、栄養専門課程においては栄養士実力認定試験、調理専門課程においては技術考査を受験し、成果も出している。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

4-18 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-18-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	5	外部講師による各種セミナー、キャリアカウンセリングの実施とともに、就職活動時には個別面談を行い、希望の職種に沿った就職指導を実施している。各種セミナーはクラスごとにスケジュールを調整し、少人数で実施している。	就職希望者は全員3月末の時点で内定を受けている。 学生に就職活動報告書を作成、提出させ管理している。 ・担当者の企業訪問 ・希望職種への就職支援 ・適性検査の実施。	特になし。	・「年度別就職状況(就職先一覧表)」
4-18-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	過年度と進行年度の業種別就職データを集計、分析および開示をしている。	就職支援室内に資料閲覧場所を設けてある。 各学科ごとに業種別就職データを取り、次年度の活動に役立てている。	特になし。	・同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
就職率の向上を図るため就職指導の担当者中心に企業訪問や求人依頼文を発送して企業開拓を行っている。就職指導は個人面談を実施し、学生の適性と希望職種に合わせ行っている。取得した資格を十分に発揮できる企業開拓をさらに推進していく。	クラス単位での就職ガイダンスの実施及び外部講師による各種就職セミナーの開催。 ・個別(希望者)に外部講師によるキャリアカウンセリングを定期的実施。 ・各企業の人事担当者や卒業生による講演会の実施。 ・学外実習事前指導における社会人としてのマナー講習の実施。 近年では、各企業がオンラインによる会社説明会や面接・試験を実施する採用方式を導入してきている。そのため、本校では、オンライン面接・試験対策を各種セミナーに取り入れている。また、学生には一人ひとりにメールアドレスを付与しており、企業との連絡やオンライン形式の選考に円滑に対応できる環境を整えている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	藤森 絵里
--------	------------	-------	-------

4-19 資格取得率の向上が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-19-3 資格取得率の向上が図られているか	4	卒業時に、調理師科は調理師免許を取得。栄養士科は栄養士免許を取得できるため、取得率は100%。 管理栄養士(学)科については、栄養士の免許の取得は卒業後申請取得できるが、管理栄養士免許については、国家試験を受験し合格しなければならない。令和6年度の合格率は64.7%であり、前年(61.5%)と比べ回復傾向であった(管理栄養士養成施設(新卒)の合格率80.1%)。しかし、以前の水準(合格率80~90%)には戻っていない。	栄養士免許と調理師免許は、卒業と同時に申請することによって、厚生労働大臣指定校のため資格取得が可能である。 管理栄養士国家試験の合格率は厚生労働省発表より。	国家試験合格率の低下に伴い、原因の分析および更なる指導内容の充実を図る必要がある。そのため、必須単位とは別に、国家試験対策講座を開催するとともに、複数回の模擬試験の結果より得られたデータを分析し個別指導の充実を図る。 また、低学年時からの意識づけを行う取り組みを実施する(各教室への参考書の設置など)。 国家試験に向けて落ち着いた学習環境を確保できるよう、「自習室」として一部の教室を開放している。	・「管理栄養士国家試験合格者名簿」 ・「合格率データ」 ・「模擬試験結果資料」 ・「厚生労働省発表資料」
4-19-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	毎年の厚生労働省発表【管理栄養士国家試験の学校別合格者状況】のデータを保管し比べることにより推移を掌握している。	資料【管理栄養士国家試験の学校別合格者状況】の保管。	管理栄養士国家試験合格率の向上。 過去の国家試験データの集積と対策の充実。	・「管理栄養士国家試験の学校別合格者状況」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
調理師・栄養士免許の取得に関しての問題点は無いが、管理栄養士免許の取得に関しては、カリキュラムと連動した総合的な国家試験対策が必要であると認識している。国家試験合格率の低下に伴い、原因の分析および更なる指導内容の充実を図る必要がある。	管理栄養士国家試験受験者に対し、複数回に渡る業者による模擬試験の実施を行うとともに、模試業者による特別講座を実施し、最新の出題傾向等の情報を得られるようにしている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

4-20 退学率の低減が図られているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-20-5 退学率の低減が 図られているか	3	担任制度によりきめ細かい学生出席状況を確認し、面接等により対策を立てている。 教務課より随時、欠席の多い学生について担任まで連絡している。前年度 5.0%であった退学率は 2024 年度には 3.7%と低下した。	各クラスに常勤教員の担任と副担任を必ず配置している。 傾向として欠席回数が多い学生の退学が目立つため、欠席回数が増えてきた学生への早期の面談等の対応をしている。 学費問題に関しては、柔軟に対応している。	定期的な学科科内会議において情報共有を進める。 遅刻と欠席数が増え始めた学生に対し、早い段階での対応を実施している。出欠席だけではなく、個別の問題（家庭環境、学費、健康面）も状況把握し、担任は素早く面談を行う。	・「科内会議議事録」 ・「学籍管理システム」
4-20-6 入退学者数とその推移に関する情報を 明確に把握しているか	5	月ごと・年度ごとの集計を行い、その理由を掌握している。退学届を保管して分析している。	退学届に記載されている事由、および学生面談記録の所見。月別・年度別在籍者数一覧を作成。	特になし。	・「退学届」 ・「学生面談記録票」 ・「月別・年度別在籍者数一覧」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
出願時・入学時の目的意識をいかに入学後も継続させるかを、学校及び担任より学生本人にフィードバックをしている。退学の兆候となる欠席の増加の情報共有をより進めていく。欠席回数累積者への早期対応は効果があるが経済的理由による退学を防ぐため、奨学金などの指導が重要である。	学科内会議での担任からのクラス内学生状況の報告と情報共有化を行っている。 目的意識が明確でない入学生が増加しており、学習内容や進路を迷う事象が散見される。最も多い退学理由は進路変更であり、その他は体調不良、精神的不調、学校生活不適應である。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

4-21 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-21-7 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	当事者よりの申し出と就職支援室での情報収集が必要。	卒業生からの個別連絡。就職活動中の情報や就職先からの情報。	同窓会「涵養会」を2014年7月に設立。 同窓会活動の活性化が必要。	・「同窓会役員会議事録」 ・「同窓会規約」 ・「同窓会会報 涵養会だより」
4-21-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	就職した卒業生の講演会を実施。	業界で活躍している卒業生を招き、講演会及び特別講習の実施。	回数の増加が望まれている。同窓会の活用。	・「卒業生からの個別連絡 就職活動中の情報や就職先からの情報」
4-21-9 在学や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	4	全国規模のコンテスト等へ参加している。 産学連携プロジェクトとして開催されるコンテストに参加している。 また、学生が個人的に各種コンテストに参加し、評価されている。	調理師科では、調理技術コンクールへ積極的に参加している。 栄養士科・管理栄養士科では、授業の一環として、産学連携プロジェクト「福島支援アイデアメニューコンテスト」に参加し評価を得た（優秀賞、佳作）。 また、学生が個人的にコンテストに参加し、評価を受けた（日本パイ文化財団「第1回全国学生パイコンテスト」協賛企業賞受賞、東京都産業教育振興会主催「作文コンクール」優秀賞受賞）。	より多くの学生の参加を促す。実習授業等での基礎技術の習得強化、弱点強化を図っていく。 また、各種コンテストのポスター掲示等による学生周知を図り、参加を促す。	・「学校ホームページ」 ・「コンテスト入賞作品の紹介」
4-21-10 在学や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものを記述できるか	4	日本料理研究会会長賞受賞、日本全職業調理士協会会長賞、日本中国料理協会会長賞、全日本司厨士協会会長賞。	学外における表彰はないが、卒業作品展示等では業界団体等からの賞を受賞している。	今後も教員を通して積極的な参加を促すことを継続していく。	・「専門学校新聞」 ・「団体会報誌」 ・「団体ホームページ」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付

2025年6月23日

記載責任者

遠藤 直希

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>卒業生の活躍を把握するためにも、積極的に同窓会を活用して情報収集を図ると共に、Web などを利用し社会的な評価を受けている卒業生の紹介及び在校生の社会活動参加現状の紹介が必要である。</p>	<p>調理技術コンクール（全国調理師養成施設協会）への出場。また、授業の一環として、コンクールへの参加も行っている。 個人的にコンテストに参加をする学生もいるため、各種コンテストのポスター掲示等により学生周知を図り、参加を促していく。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

基準 5 学生支援

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援として、在学中における就職指導（進学指導）、生活面での相談、健康管理、課外活動などが挙げられる。</p> <p>就職指導には専任を配置し、在校生だけでなく卒業生に対しても門戸を広げ対応している。</p> <p>生活面は、担任と副担任が相談窓口となり生活指導を行う体制を設けている。バックアップ体制として、学科長、学年主任・学科主任、校長が状況に応じて対応する。</p> <p>経済的な相談窓口としては庶務室が対応する。奨学金、教育ローンなどの相談や説明会を実施。（学納金の分割納入・延期納入の希望者にも対応）</p> <p>多種多様な学生がいるため、状況に合わせた個別対応をしている。</p> <p>健康管理は入学時に健康診断を実施し、個々の健康状態を把握している。また、保健師（看護師資格所持）による学内での負傷等の対応や健康相談が可能となった。</p> <p>精神的に支援が必要な学生には、保健師による相談および学校医により外部のカウンセリング機関に紹介できる体制を整えている。</p> <p>学生会館を運営している専門業者を学生に紹介している。</p> <p>学園所有の寮を保有して、希望者に入居させている。</p> <p>自立進学制度を設け、提携企業 5 社にて勤務しながら就学し、給与・宿泊施設・食事の提供が受けられる体制がある（本年度は制度利用者なし）。</p> <p>国民年金学生納付特例事務法人となったため、学生納付特例制度の案内、手続きを実施している。</p> <p>コロナ禍以降、さまざまな感染症への対策として、検温、手指消毒、教室消毒、必要に応じてのマスクの着用等の基本的な感染対策は継続している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医の委嘱契約を結んでいる（健康診断結果を再度診断依頼し、必要に応じて専門医への紹介をしている）。 ・保健師（看護師資格所持）による健康相談の実施、負傷等の緊急時の対応を行っている。 ・国民年金学生納付特例事務法人。 ・高等教育修学支援確認校認定。

最終更新日付	2025 年 6 月 23 日	記載責任者	遠藤 直希
--------	-----------------	-------	-------

5-22 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題と その解決方向	参考資料
5-22-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	5	担当教員が常駐する就職支援室が設置されている。	キャリアコンサルタントの資格を有している専門の担当教員が指導している。 外部講師によるカウンセリングを定期的実施。 企業訪問の実施。	特になし。	・「学籍簿と身上書」 ・「就職・進学進路決定一覧」
5-22-2 就職に関する説明会を実施しているか	5	就職活動に入る前、就職指導担当者よりクラス単位で、就職説明会を実施している。	授業時間外にクラス単位で説明会を開催している。	特になし。	・「説明会資料」
5-22-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	5	実施している。	各学生の就職に対する理解度を掌握し、学生ひとりひとりの希望職種、希望勤務地、適性などに応じて就職指導を実施。	特になし。	・「個人別就職活動の記録」
5-22-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方など)に関する指導を実施しているか	5	実施している。	就職説明会に履歴書の記入方法が含まれている。 外部講師による各種就職セミナーを実施。 履歴書などの書類を企業へ提出する前に担当者による点検を実施。	特になし。	・「各種セミナー資料」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
<p>就職支援室の担当者および担任による就職活動の支援を行っている。</p> <p>全体説明会および個別相談会の開催。就職に関する書類の提出指導及び面接指導の実施。</p> <p>クラス単位による就職ガイダンス及び外部講師による各種セミナー、キャリアカウンセリングの実施。</p>	<p>進学希望者に対しては、就職支援室の担当職員より、内部進学希望者、大学編入希望者および海外留学希望者の把握と相談を随時行っている。</p> <p>企業から提出されている求人票は、スマートフォンやパソコンから閲覧できるようになっている。学生は隙間時間をつかって求人情報を入手でき、早期から就職活動に取り組める体制が整備されている。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	藤森 絵里
--------	------------	-------	-------

5-23 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-23-5 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	クラスごとに担任を配置し、運営している。担任が相談窓口として機能している。	クラスごとに担任と副担任を配置している。	担任ごとのキャリアの差がある。教員のレベルアップのための研修参加が必要。	・「担任一覧表」 ・「研修実施一覧」
5-23-6 学生相談室を開設しているか	3	健康管理室、就職支援室がある。	健康管理室および就職支援室の設置。	健康管理室には、保健師（週2日）、学校医（月2日）が在室（常駐はしていない）。就職支援室は、複数名の学生が同時に相談するスペースが限られる。	特になし。
5-23-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	保健師、学校医と相談できる体制をとっている。	保健師による健康相談（週2回）、学校医と相談（月2回）が可能である。	カウンセラーは未配置であるが、保健師による心身面の相談が可能となった。	・「教職員一覧」 ・「教職員履歴書」 ・「研修実施一覧」
5-23-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	教務課内にて留学生担当者を設置し、対応している。	整備しているが、在校生がほとんどいない（2024年度2名）。	学園内各校担当者の意見情報交換が実施されている。	・「留学生研修セミナー参加資料」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の相談にはきめ細かく応える人的体制を整えているが、専門知識を持つ職員の常駐および相談室などの整備が課題である。	相談室の整備、工夫・検討が必要。専門職常駐の検討。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-24 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-24-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	5	機能している。学費の一括納入が無理な場合は、延期納入、分割納入などを案内。奨学金制度の案内の実施。20歳以上の国民年金加入者に対する納付猶予の案内実施。	学費納入時ごとに、書面で案内をしている。奨学金制度に関しては、入学時ガイダンスで説明している。入学案内に記載。国民年金学生納付特例事務法人である。	文書による掲示および担任からの助言。学生の周知や申請手続きの指導に一層努める。 国民年金学生納付特例に関しては学生自身の意識が低いので周知を深める。	・「入学案内」 ・「学生便覧」 ・「国民年金学生納付特例の申請に関する事務取扱規定」
5-24-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	5	機能している。 ・日本学生支援機構・東京都育英資金・日本政策金融公庫・民間の学業サポートプラン ・高等教育修学支援新制度確認校。家庭の経済状況に関わらず高等教育に進学できる機会を確保する制度(授業料減免・給付型奨学金)	在学採用に関しては奨学金利用説明会の実施(入学時)。申し込み説明会の実施(5月)。個別相談にて対応。次年度の継続については1月に実施している。 2019年度より継続して高等教育無償化確認校となっている。	奨学金利用希望者が年々増加傾向にある。奨学金を受けていても学費納入が困難な事例が出始めている。 給付型奨学金の場合、学業結果や出席率によっては給付が中止となる場合があるが、認識が低い学生がいる為、周知させる事が必要。	同上
5-24-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	5	機能している。 ・分納制度(学費納入の分割制度) ・延納制度(学費納入の延期制度)	学費納入時ごとに、書面で案内をしており、分納希望者には庶務室にて個別対応をしている。奨学金制度に関しては、入学時に実施しているガイダンスで説明している。	文書による掲示および担任からの助言。 分納制度の更なる周知に努める。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>経済不況により、学費負担が家計を圧迫している状況が窺える。入学前相談において学費の説明を行っているが、奨学金をあてにして入学する学生が存在する。学校では種々の対策を講じているが、入学生の家計の実態までは分かりにくい。</p> <p>国民年金納付に関しては猶予制度の案内をしている。</p>	<p>入学前に、必要な学費がいくらなのか正確に把握して入学してきているのか疑問に感じられる学生が少なくないように感じる。奨学金に頼りすぎている傾向があり、卒業後返還しなければいけないことは再三説明しているが、理解に乏しい学生・家庭が一定数あるのが現状である。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-25 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-25-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	5	定期健康診断を実施している。全学生に定期的に細菌検査を実施している。	学校保健法に基づいた健康診断を毎年4月に定期的実施しており、校医、学科長及び担任が診断結果を把握している。予防接種の実施にて一部の感染症予防を実施している。定期的検便による腸内細菌検査を実施している。	特になし。	・「健康診断票」 ・「細菌検査結果表」
5-25-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	3	健康管理室を設置。全学生の健康調査により既往症、対処法をデータ化。	健康管理室にベッド、医薬品等の備え置き。全学生の健康調査結果をデータとしてまとめている。	健康管理室は設置されているが、設備の充実が必要。健康管理室への医師・看護師の常駐はない。保健師（週2日）、学校医（月2日）の在室。近隣医院との嘱託契約あり。	・「学内見取り図」 ・「健康調査結果」
5-25-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	3	医師・看護師は常駐していないが、非常勤の看護師資格所持の保健師が健康管理室に在室している（週2日）。学校医委託契約をしている。	近隣の病院等の一覧表および地図を整備している。	健康管理室への常駐看護師等の検討、保健師や学校医の在室時間・日数の延長の検討を進める。	・「学校医委嘱契約書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生の健康管理等に関しては、学校医の委託契約、保健師の配置を行っている。全学生には健康調査を実施し、各自の既往症、対処法、アレルギー等は把握している。なお、その情報に関しては厳重に管理している。</p> <p>健康管理室として最低限機能しているが、近年は体調不良や精神的不安にて健康管理室を利用する学生が増加傾向であるため、更なる充実が必要。</p>	<p>個人に不利益を招くおそれがあるので、学籍簿には病歴が表記されない。なお、2024年度に健康管理室を利用した学生はのべ63名（体調不良33名、健康相談30名（保健師29名、学校医1名））。体調不良の学生には、主に教務課員が付き添っている。健康相談における相談内容は、主に心理面が多かった（家族・友人関係の悩み、睡眠がとれない、登校できなくなった、等）。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-26 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-26-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	3	現在、クラブ活動等は希望者が少なく休止中。学園関連のボランティア等で学生が学外へ出る場合は、教員が引率している。 災害傷害保険の加入。	在校生全員、災害障害保険への加入。	クラブ活動希望者の確保。活動時の会場探し。 公的機関への申し込みと抽選倍率の高さが課題。	・「年次活動報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
スポーツ活動に関しては、学生主体で運営を行ってきた。顧問の教員負担や指導体制に問題は生じていないか、学校としての介入度合いはいかほどが良いか、絶えず検討する必要がある。2024年度は各クラブの活動希望者がいないため活動休止中である。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-27 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-27-16 遠隔地出身者のための学生寮など、学生の生活環境への支援は行われているか	4	学生会館などの提携学生会館の紹介および契約。 学園所有の寮を希望者へ斡旋。 働きながら学ぶ「自立進学制度」の案内実施(2024年度は制度利用者なし)。	管理人常駐の学生会館の紹介。 学園所有の寮。 自立進学制度を実施するために企業と連携。	学園所有寮の定員が希望者の人数より少ない場合がある。契約学生会館の紹介増加を検討。 自立進学制度では勤労と学業の両立が難しい部分があり、近年は制度利用者がいない。	・「入寮申込書」 ・「学生募集要項」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
遠隔地からの出身者は、学費以外に生活費や住宅費がかさみ、保護者への負担が大きくなっている現状がある。いかに経済的な負担を軽減することが出来るかが、学生を取り巻く環境整備への第一歩となる。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-28 保護者と適切に連携しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-28-17 保護者と適切に連携しているか	5	担任が窓口となり、適宜、保護者とは連絡をとっている。出席状況などを含め、学校での生活状況を必要に応じて報告している。成績票も送付（2回/年）。	クラス担任制である。必要に応じて、担任が保護者に連絡をとっている。また、年1回、保護者会を実施し、学校の方針、学生の状況などを保護者に伝えている。	特になし。	・「保護者会案内」 ・「学園祭案内」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>保護者との連絡は、適宜、担任を窓口として行っている。教員間で学生に関する情報交換をするよう努めている。</p> <p>年1回保護者会を開催し学校の状況等詳細を案内し、更に周知の必要がある場合には各家庭への書面発送を行っている。</p>	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

5-29 卒業生への支援体制はあるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-29-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	3	調理師科・栄養士科・管理栄養士(学)科の同窓会が設置されているが、活動としては十分でない。	調理師科同窓会「若葉会」、栄養士科同窓会「新樹会」、管理栄養士(学)科同窓会「涵養会」があるが、外へのアピールが少ない。	卒業生の卒後住所確認が難しくなっている。 卒業生情報のデータベース化で情報共有を図ることも検討すべきだが、個人情報の保護の観点から、卒業生の現在の情報を収集するのが困難になっている。 同窓会の組織化、広報活動等が重要な課題。	・「同窓会名簿」 ・「役員会議事録」
5-29-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	3	管理栄養士国家試験受験対策の実施を行っていたが、2024年度は実施していない。	管理栄養士国家試験対策委員会にて模擬試験などを実施していたが、希望者がほとんどなく実施していない。	卒業生へのPR不足。	・「HP ニュース」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>個人情報保護法の関係から、同窓会名簿を作成するに当たり住所等の記載に問題が生じている。</p> <p>近年の卒業生に関しては、データにて卒業時の状況は検索できるが、数十年前の古い卒業生に関しては、データ化されておらず、卒後相当数の変更があるため、追跡等が難しい。</p> <p>また、実施運営も一部に留まっているため、運営も含め再考する必要がある。</p>	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

基準 6 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設設備の整備は、教育効果を考え学習に専念できるよう随時整備している。</p> <p>1 クラス人数の制限に準拠し、視聴覚設備（各教室のプロジェクター、モニターの設置など）の充実を計っている。</p> <p>学外実習は卒業における必須単位なので、指導体制がしっかりとしている実習先を選択して派遣依頼をしている。2020～2021 年度に関しては実習先からの受け入れ困難により、学外に出られないケースが多かったため学内にて対応したが、2022 年度以降は実習先からの受け入れが可能となり、通常の学外実習を実施している。</p> <p>防災に関しては、教職員で防災組織を構成し、消防計画、地震発生時の心得、緊急連絡網などを整備し、それらを基に指導している。</p> <p>コロナ禍においては感染防止策として、実習室等へのパーテーション導入、学内入館時の体温検知器の設置、学内各所への消毒液の配置、教室の消毒の定期化等を行った。コロナ禍以降は、他のさまざまな感染症にも対応すべく、検温、手指消毒、教室の定期消毒などの感染対策を継続している。</p>	<p>・広域避難場所への多人数での移動が行政指導により不可であり、今後の課題である。</p> <p><感染拡大防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内入館時の体温検知器の設置 ・学内各所への消毒液の配置 ・強酸性次亜塩素酸水を用いて、全館噴霧消毒を毎月定期的実施

最終更新日付

2025 年 6 月 23 日

記載責任者

遠藤 直希

6-30 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-30-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	教育効果の向上を目指し施設設備の充実を心がけている。実験・実習器具の新規購入を行っている。	2024年度は、1・2号館の各教室のプロジェクターの交換を実施。	さらなる施設の充実を図る。購入金額が高く、更新が必要な器具類に関しては、必要に応じて優先順位を決め補助金制度を活用して購入。	特になし。
6-30-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	メンテナンス体制の充実、整備の実施のため、専門業者と提携し、業務委託している。	専門業者とのメンテナンス契約の実施。	防災設備、エレベーター、窓、電気周り等は各専門業者にて対応。壁面クラック、その他は随時巡回確認。	・「業務提携書」
6-30-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	5	学生の教育環境を整備するため、3カ年計画と年間計画を立案し実行している。	3カ年計画の立案と教職員への周知。 担当部署ごとの年間計画の立案。	特になし。	・「FUTABA 中期計画(3か年計画)」 ・「2024年度予算案、計画概要(建物・ハード分野)」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
施設・設備は教育・学校生活に支障がないよう整備され、かつメンテナンス及び更新の体制も作られ、学生・教職員の施設面での安全確保はなされている。設備、機器の充実は、今後も優先順位の高いものから計画的に購入・改修を進める。	校舎内の移動手段はエレベーターの使用が中心であるが、混雑緩和のための移動手段として、非常階段の安全性を配慮(防御ネット設置)し活用している(2号館)。2024年度は、各教室のプロジェクターの交換を行った。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

6-31 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-31-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	4	全学科の学外実習は有資格者のもとで実施している（ホテル・病院・集団給食・保健所・児童福祉施設・高齢者福祉施設）。近年、実習先の確保が難しくなりつつある。 海外研修については、姉妹校実施のものに希望者が参加している（2024年度は参加希望者が少なく実施なし）。	管理栄養士(学)科及び栄養士科の学外実習は卒業時の必須取得単位である。なお、学外実習に関しては、法令等でも詳細が決められている。実習先の承認が必要である（協定書等の作成）。	実習先の体制と実習生のスキルの格差がある。 実習依頼先の拡大が急務である。教員の人脈を通じて新規の実習先を増やしていく。 関係企業との一層の連携を進めていく。	・「依頼書」 ・「承諾書」 ・「実習票等」 ・「協定書」
6-31-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	5	現場実習を経験することにより、その後の学生生活に変化はある。 教員による実習先訪問。 専任教員が学外実習関係すべての業務を担当している。 「学外実習報告会」を実施し、評価を得ている。	問題意識を持ち学生生活を送るようになる。	実習内容が反面教師になり、進路を変更する者がいる（関連した就職を嫌う）。資格の大切さを諭したり、実習先の訪問回数を増やす等の対応をしている。 多種多様な学生がおり、事前指導が難しく、浸透していない部分があるため、学外実習業務の人員の増加も行っている。	・「実習票」 ・「学外実習報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実習の目的を実習先に明確に伝えているが、実習先および学生共に未消化の気持ちのまま実習を終えてしまうケースがみられる。実習先においては、基本的に充実した指導体制の中で学生が受け入れられている。	学外実習先は保健所・病院・受託給食会社・給食センター・保育園・高齢者施設・ホテル・飲食店など、多岐にわたる。 「学外実習報告会」を開催し、評価を得ている。

最終更新日付

2025年6月23日

記載責任者

遠藤 直希

6-32 防災に対する体制は整備されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4	学内にて職員による自主防災組織を定めている。地区担当消防署と連携している。 火災報知機の作動確認。 学生分の防災セットを用意。 防災設備の保守点検を専門業者に依頼している。	消防計画、地震発生時の心得、緊急連絡網などを整備し、防災教育を行っている。 普通救命講習を受講し、認定を受けた教職員が各科・課にいる。 専門業者による定期点検を年2回実施している（機器点検・総合点検）。	日常的な防災意識の啓発。 防災訓練による防災に対する意識の向上。 防災マニュアルの整備。	・「消防計画」 ・「地震発生時の心得」 ・「緊急連絡網」
6-32-7 災害を起こす可能性のある設備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	消防計画に記載。 火災報知機による監視。	防災の手引きによる確認。 火災報知機等の定期点検。 自主検査表でのチェック。	個々の問題意識の向上。	同上
6-32-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	実験室薬品棚の転倒防止措置。 火気設備使用後の元栓確認。 日常の火気使用時の注意。	防災の手引きによる確認。 実習室使用時の心得。	教職員と学生との連携体制を整える。	・「消防計画」 ・「実習心得」
6-32-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	5	学生生徒災害傷害保険・賠償責任保険への加入。 インターンシップ活動賠償責任保険への加入。 学校賠償責任保険への加入。	社団法人東京都専修各種学校協会・株式会社東京セントラル（学生生徒災害傷害保険・賠償責任保険、学校賠償責任保険、インターンシップ活動賠償責任保険）への加入証明書。	特になし。	・「学校保険」 ・「保険証書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-32-10 防災訓練を実施しているか	4	消防署と連携し、教職員及び全学生参加による防災訓練を年2回実施（防火・防災）。	消防計画に基づき。	広域避難場所までの移動が行政指導により不可。当面は学内で実施。 校舎敷地の制約による、一時避難場所の確保。	・「消防計画」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
消防庁に届出している消防計画に基づき、防災訓練や防災に対する意識の向上を心がけさせる。（非常時の認識）	特に教職員に対し防災への意識を高める指導を実施している。 災害時の備蓄食品の確保を全学生分配備している。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

基準 7 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集は、年次計画に基づき適確に実施している。オープンキャンパス及び高校での進路ガイダンスを積極的に行い、効果的な募集活動をしている。</p> <p>入学選考及び学納金は適切かつ妥当なものとなっている。</p>	<p>年間オープンキャンパスを実施し、調理師・栄養士・管理栄養士について説明している。また近年夜間個別相談会・日曜相談会も実施し遠隔地や時間が取れない方へも十分な説明ができるようになっている。高校生、保護者または社会人の方々に本校の教育内容を十分理解していただくよう心掛けている。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	------------	-------	--------

7-33 学生募集活動は、適正に行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-33-1 学生募集活動は、適正に行われているか	4	入試方法について、受験生、保護者、高校の先生方にご理解いただけるよう努めている。	高校訪問、入学相談会、オープンキャンパス、学校見学など面会時に適切な説明を行っている。	継続的な見直しと改善を行う。	・「学生募集要項」
7-33-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	5	十分に理解できる内容となっている。	資料を用意し情報の可視化をしている。	特になし。	・「入学案内」
7-33-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	5	入学相談室を設け、電話やLINEでの対応を行っている。	入学相談担当者の配置。	特になし。	・「入学案内」 ・「学生募集要項」
7-33-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	広報室を設置し募集計画を企画し実行しているが一部目標を達成していない。	オープンキャンパスの実施。 夜間個別相談会・日曜相談会の実施。 学校見学の受け入れ。	リーフレット等の作成。ホームページの活用を図る。新たに夜間個別相談会・日曜相談会を実施。	・「体験入学等のリーフレット」 ・「ホームページ」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し、オープンキャンパスを含めて相談会の実施や、随時窓口相談を受けている。教育内容の理解度を深める体制を取っている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	------------	-------	--------

7-34 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-34-5 学生募集において、就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか	4	資料を作成している。また、ホームページにて公開している。	必要に応じての配付。	同窓会と連携し、入学相談会やオープンキャンパス等で卒業生が直接、自身の体験を話していただけるような体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「入学案内」 ・「就職状況」 ・学校ホームページ
7-34-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	活躍の教育成果として、就職一覧表の作成。	教育の結果が就職に反映している。	個人情報保護法内での情報開示。	<ul style="list-style-type: none"> ・「入学案内」 ・「就職状況」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学希望者に対し、卒業生の活躍（就職先・業務内容）について正確な情報を提供している。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	------------	-------	--------

7-35 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-35-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	入学選考基準を設けている。	入学選考表の作成。	特になし。	・「評価票」 ・「入学審査会」
7-35-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	年度ごとに数値の推移をまとめている。	年度毎の出願者および入学者の集計表作成。	特になし。	・「年度別出願者および入学者一覧表」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、入学選考票（評価票）及び入学審査会に基づき行っている。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	------------	-------	--------

7-36 学納金は妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-36-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し、妥当なものとなっているか	5	妥当である。	財務関係書類で確認。高等教育修学支援確認校となった。	特になし。	特になし。
7-36-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している。	財務関係書類で確認。	特になし。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は、中長期的な計画に基づいて理事会で決定される。	高等教育修学支援確認校となったことで、負担軽減となった。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	中村 佳奈美
--------	------------	-------	--------

基準 8 財務

(1/2)

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>① 教育活動収支 学生数の減少に伴い教育活動収入は 778,606 千円(昨年度比 51,920 千円減)。 教育活動支出(人件費・教育研究経費・管理経費)は 777,316 千円(昨年度比 39,840 千円減)。</p> <p>② 教育活動外収支 配当を重視した資産運用が伸長、また借入金利息の減少により 45,685 千円(昨年度比 2,220 千増)</p> <p>③ 経常収支 ①・②の結果により、45,685 千円(昨年度比 9,445 千円減)</p> <p>④ 特別収支 受取利息・配当を重視した資産運用により売買の機会が減少した影響により 18,664 千円(昨年度比 15,333 千円減)</p> <p>⑤ 基本金組入前当年度収支差額 64,349 千円(27,311 千円減)</p> <p>2024 年度は 4 号館の空調設備更新や教育研究機器の積極的な導入により、流動資産 39,050 千円減少しました。 借入金の返済は 2025 年度末で終了することから、財務強化は進む傾向にあるものの、肝心の学生数が減少していることが喫緊の課題となっています。</p>	<p>数値は 2024 年度実績・()内数値は 2023 年度実績</p> <p>①事業活動収支差額比率 7.6%(10.0%)となり 2.6 ポイント低下。学校運営という特性から固定費割合が高く、学生数減・収入減がそのまま反映された結果となります。 ・事業活動収入は、848,561 千円(913,595 千円)前年比 65,034 千円減となりました。 (内訳:教育活動収入 778,606 千円・教育活動外収入 45,388 千円・特別収入 24,567 千円) 教育活動収入だけを比較すると、51,920 千円減(830,526 千円)となります。また 2023 年度末から資産運用方針を資産売却から受取利息・配当を重視するようしており、資産売却に伴う特別収入 15,333 千円減(39,900 千円)の影響となります。 尚、資産運用方針の転換理由は以下の通りとなります。 当法人は「高等教育の修学支援新制度」の対象校として確認されています。対象校として機関要件を満たす必要があり、要件の一つとして『直近3年度いずれかの事業活動収支計算書の「経常収支差額」がプラスであること』とあります。経常収支差額に直結する収入は「教育活動収入」・「教育活動外収入」であり、教育活動外収入の内訳として「受取利息・配当」が含まれます。資産売却に伴う「特別収入」は経常収支差額には関与しないため、上述の資産運用方針に切り替えて、売却による利益よりも受取利息・配当を重視している次第です。そのため売却する機会が低減したことにより特別収入は低下しておりますが、「受取利息・配当」は 39,856 千円(28,314 千円:2022 年度)と 11,542 千円増と運用成果が上がってきました。 ・教育活動支出は、777,316 千円(817,156 千円)前年比 39,840 千円減となりました。 「人件費」は 364,931 千円(390,992 千円)前年比 39,840 千円減。 2024 年 4 月 1 日時点 70 名の教職員でしたが、下期以降 7 名が退職した影響となります。業務見直しと採用活動を進め 2025 年 4 月 1 日時点 67 名で 2025 年度を迎えております。 「教育研究経費」は 302,552 千円(314,092 千円)前年比 11,540 千円減。 学生数は 481 名(531 名)10%ほど減少しておりますが、物価上昇の影響が大きく約 4%の低下に留まりました。 「管理経費」は 109,833 千円(112,072 千円)前年比 2,239 千円減少。 各費目で多少の増減の積み重ねで、特筆すべき項目は見当たりません。 (次ページへ続く)</p>

最終更新日付	2025 年 6 月 23 日	記載責任者	寺島 秀親
--------	-----------------	-------	-------

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
	<p>②人件費比率 44.3% (44.8%)となり0.5ポイント低下。 経常収入減ではありますが、想定外の退職に伴う人件費減の影響で人件費比率が低下しました。採用競争力向上のため新卒を含めた若年層の賃金体系見直し・評価制度に沿った昇給など、平均賃金は上昇傾向にあります。収入面でみますと、2025年度新規入学者は2024年度と同等であり、下げ止まりの兆候が見られます。また資産運用方針の見直し、2024年度実習費等の値上げ、2026年度には授業料値上げ認可などに取り組んでおります。更に競合校において「高等教育の修学支援新制度」の対象校認可を維持することが難しくなっている法人が見受けられるなど好転する可能性があります。前回の理事会・評議員会と重複いたしますが2026年度の黒字化を喫緊の課題として取り組むことが人件費比率低下にも寄与すると思料いたします。</p> <p>③総負債比率 8.7% (11.0%)と着実に改善されました。借入金返済が予定通りに進捗しており、2号館建設費借入金も予定通り完済予定となっております。負債には授業料などの前受金が含まれることから0%になることはありませんが確実に財務強化できております。</p> <p>④財務状況 2024年度末における借入金総額 0.72 億円 (1.50 億円)・流動資産 17.8 億円 (18.2 億円)となりました。 (流動資産内訳) ① 現預金等 6.9 億円 (8.7 億円) ② 債権等の安全性金融商品等 5.1 億円 (5.3 億円) ③ 株式等の収益性商品 5.6 億円 (4.1 億円) ④ その他未収入金 0.227 億円。 資産運用規程では①40%・②40%・③20%を目標とした分散運用としており、2024年度末時点で①40.6% (48.3%)・②25.2% (26.0%)・③34.1% (25.7%)となりました。 中期計画で取り組んだ、全館空調設備改修工事などにより現預金が減少した事、また上述の通り、経常収支黒字の施策として投資信託・配当利回りの高い株式を購入した結果となります。2025年度事業として計画しております1号館大規模改修工事によって大規模な工事は一巡するものの、今後も大幅に学生生徒等納付金が向上しない限り、③株式等の収益性商品による運用は必須と捉えております。その分、リスクも伴いますので、リスクヘッジとリスクテイクを鑑みて、分散運用の割合を含めた資産運用規程の改定を検討したく存じます。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-37 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-37-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	引き続き、経常収入が経常支出を上回ることができ、財務基盤は着実に安定しつつある。	学校法人基礎調査（資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表）。	定員充足と収益事業・付随事業の強化。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校法人基礎調査（資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表）」 ・「財産目録」 ・「資産運用規定」 ・「経理規定等」
8-37-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	決算情報を開示しており、主要財務数値も私立専修学校統計と比較しながら把握している。	学校法人基礎調査（資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表）。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校法人基礎調査（資金収支計算書・事業活動収支計算書、貸借対照表）」 ・「財産目録」 ・「今日の私学財政（日本私立学校振興・共済事業団発行）」 ・「経営指標統計」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3 か年計画で取り組んだ全校舎の空調設備更新工事が完了した。総額 1.5 億円の投資であったが流動資産の減少は 39,050 千円に抑えることができた。	2025 年度末には 2 号館（吉祥寺二葉栄養調理専門職学校）の借入金が完済予定。とにもかくにも定員充足が最大の課題となっている。

最終更新日付	2025 年 6 月 23 日	記載責任者	寺島 秀親
--------	-----------------	-------	-------

8-38 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-38-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものとなっているか	5	事業計画および予算案を精査し、かつ学生募集状況を鑑みて期初に決定している。	各部署からの事業計画および予算、決算書。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業計画書」 ・「予算書」 ・「評議員会議事録」 ・「理事会議事録」
8-38-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	中長期計画及び単年度目標、事業計画に照らして執行され、予算と決算の差異は微差であった。	各部署からの稟議書起案に沿ってチェックしている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「事業計画書」 ・「稟議書」 ・「予算書」 ・「決算書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>年度予算計画に沿い、各部署からの予算請求を稟議書によるチェックをもつて適正に処理されている。</p> <p>理事会において四半期毎に予実管理がなされている。</p>	<p>想定していた退学率を下回ったこと、受取利息・配当を重視した資産運用・補助金の積極的な活用により想定以上の経常収支を計上することができた。</p>

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-39 財務について会計監査が適正におこなわれているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-39-5 財務について会計監査が適正におこなわれているか	5	会計監査は公正・正確に行われている。	監事および税理士による監査。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「決算書」 ・「監査報告書」
8-39-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	年次決算の早期化が進み、監査、および評議員会諮問・理事会決議が計画通りに実行できている。	計画通りに実行できしており、5月末までに所定の手続きを全て踏まえて確定できている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「監査開催案内」 ・理事会開催通知 ・評議員会開催通知

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務については監査スケジュールを明確に定め適切な監査がなされた。	問題なく余裕をもって年間計画通りになされている。 税理士・監事が同席のもと会計監査はもとより経営課題を議論する体制が整えられている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

8-40 財務情報公開の体制整備はできているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-40-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	5月上旬までには決算が確定し、財務諸表を毎年5月末までに公開する体制が整備できている。	5月上旬までに監査を実施し、評議員会による諮問、理事会による決議を5月末までに行っている。	特になし。	・「財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)」
8-40-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	学校法人会計改正に即して行われている。	ホームページにて公開。	特になし。	・「財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)」 ※ホームページに記載

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
公的機関・教育機関としての説明責任を果たすべく、学校法人財務諸表(資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表)をホームページにて公開している。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	寺島 秀親
--------	------------	-------	-------

基準 9 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>組織に於いて、法務に関する事項、行政指導、所轄庁からの通知等は明示管理しており、設置基準についても遵守し適切な運営をしている。</p> <p>「個人情報保護法」は継続的に啓発するとともに、「個人情報保護規程」に従い個人情報の取り扱いには特に注意している。</p> <p>2009 年度から「自己点検・自己評価」を実施し、その結果を公開するとともに問題等の改善に努めている。今後は、より積極的な公開・情報提供を行う。</p> <p>2015 年度より学校医、産業医を委嘱契約し、引き続き学生ならびに教職員の安全衛生に努めている。</p>	<p>「養成施設指定基準に係る自己点検表」</p> <p>「情報保護規程」</p> <p>「点検及び評価等実施委員会規定」</p> <p>「自己点検・自己評価報告書」</p> <p>「学校保健安全法」</p> <p>「安全衛生規定」</p> <p>「特定個人情報規定」</p>

最終更新日付

2025 年 6 月 23 日

記載責任者

小川 万紀子

9-41 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-41-1 法令や専修学校設置基準等が遵守され、適正な運営がなされているか	5	高等教育機関として、文部科学省・厚生労働省の法令等を遵守し適正に運営している。	文部科学省・厚生労働省等の通知指導等は各部署に回覧等で周知させ、重要案件については学園本部と協議し対応している。	特になし。	・「養成施設指定基準に係る自己点検表」
9-41-2 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	教職員、在校生に対しては適宜啓発活動を行っている。	回覧、定例の運営会議、科内会議、ホームルーム等で周知を図っている。	今後、より積極的かつ有効な啓発活動を検討する。	・「専修学校設置基準」 ・「栄養士法」 ・「調理師法」 ・「学生便覧」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令や専修学校設置基準等については、「養成施設指定基準に係る自己点検表」に則り適正に運営している。今後、教職員等への法令のより一層の周知徹底が課題である。	教職員の資格取得・スキルアップのため、教職員は各種の学会、研修会や講習会等に積極的に参加している。コロナ禍以降、オンラインにて参加できる研修会・講習会も増えている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

9-42 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-42-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	5	「個人情報保護法」を遵守理解し啓発活動を行っている。	本学園独自の「個人情報保護規程」を設けている。	特になし。	・「個人情報保護法」 ・「個人情報保護規定」
9-42-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	志願者、在校生、卒業生及び教職員に至る個人情報の扱いには常時注意しているが、啓発活動は不十分である。	本学園独自の「個人情報保護規程」を設けている。	法令等の更なる周知徹底を図る。	・「個人情報保護法」 ・「個人情報保護規定」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の取り扱いについては、常時、注意喚起している。学生データの保護、特にパソコンの情報の取り扱いには慎重な対応を求めている。	個人情報に関する記録媒体の持ち出しは厳禁としている。加えて、必要に応じ記録媒体を使用する場合は、届出を義務付けている。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

9-43 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-43-5 自己点検・自己評価を定期的を実施し、問題点の改善に努めているか	5	2009年度から実施し、諸問題の改善に積極的に取り組んでいる。	「自己点検及び評価等実施委員会規定」 「自己点検・自己評価報告書」	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己点検及び評価等実施委員会規定」 ・「自己点検・自己評価報告書」 ・「学校関係者評価報告書」
9-43-6 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	方針及びその目的は定められている。	「自己点検及び評価等実施委員会規定」に定められている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己点検及び評価等実施委員会規定」
9-43-7 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	適宜情報提供しており、学内外の関係者へ周知している。	委員会報告として運営会議で情報提供している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己点検・自己評価報告書」 ・「学校関係者評価報告書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「自己点検・自己評価」を実施するとともに、問題点の改善に努めている。学内外の関係者への「自己点検・自己評価」の方針に関する情報提供を正確に伝達することが今後の課題である。	在校生による意見箱、学級日誌、学生の授業評価等からの改善事項の要望については運営会議等で検討し、可能な範囲で対応している。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

9-44 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-44-8 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	学校関係者評価委員会報告として情報提供している。	学校評価の公開により、社会的認知度向上をより積極的に図っている。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己点検・自己評価報告書」 ・「学校関係者評価報告書」 ・「情報公開法」 ・学校ホームページ
9-44-9 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	公開する方針を確立している。	ホームページで公開している。	特になし。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自己点検及び評価等実施委員会規定」 ・「自己点検・自己評価報告書」 ・「学校関係者評価報告書」 ・「情報公開法」 ・学校ホームページ
9-44-10 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	情報公開は関係者に周知されている。	「自己点検及び評価等実施委員会規定」並びに報告書。	特になし。	同上

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
「自己点検・自己評価結果」の公開をしているので、学内外に周知されているが、今後は項目の精査とともに実施回数を検討し積極的な公開を目指す。	特になし。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	小川 万紀子
--------	------------	-------	--------

基準 10 社会貢献

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>地域で開催される各種の委員会・講演会・講習会等へ本校の教職員を委員、講師として派遣している。行政機関、学校、業界団体や地域との連携・交流は積極的に行っている。また本校の施設を活用した事業にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>地元の行政機関等の要請による調理実習室を活用した調理講習会・講演会等にも積極的に協力し、地域社会との連携には特に配慮している。</p> <p>環境問題・衛生問題等の社会問題について、学生や教員に対する啓発活動は少しずつではあるが定着している。望ましい啓発活動のあり方・方法について、今後検討する。現在、SDGsの各目標に関し積極的に取り組んでいる（省エネ対策、ごみ分別・削減など）。さらに取り組みの枠を広げていく。</p> <p>学生のボランティア活動については、従来、学校をあげて協力していたものもあるが、コロナ禍以降は実績的にはわずかなものになった。その他、活動時間の確保や安全問題など検討すべき課題があり積極的な奨励・支援態勢はとっていない。現在は、学生の自主的活動に任せている。学生のボランティア活動の可能性そのものについて今後検討する。</p>	<p><講師派遣例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プロが教える手作りおせち料理」（武蔵野市消費生活センター） ・「東京しごとセンター講習会」（公益社団法人東京しごと財団主催） ・「武蔵野市夏休み子どもワークショップ 2024」（武蔵野市） ・公立・私立 高等学校への講師派遣 <p><本校施設活用事業例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東京しごとセンター講習会会場」（公益社団法人東京しごと財団主催） ・二葉祭の「特別企画：食と健康コーナー」が、地域住民の健康保持・増進に寄与する社会貢献活動として、全国栄養士養成施設協会の後援及び助成金を受けた。 ・「ボラカフェ」の会場（武蔵野市民社会福祉協議会 ボランティアセンター武蔵野） <p><社会問題への取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の活用 ・エアコン改修、クールビズ・ウォームビズの実施、ソーラーパネル設置による省エネ対策 <p><ボランティア活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントへの参画：三鷹ファーム「芋煮会」における学生・教職員の活動 ・二葉祭の売り上げの寄付（社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会、珠洲市社会福祉協議会、輪島市社会福祉協議会、NPO 法人ささえる絆ネットワーク北陸（こども食堂など）、福島やさい畑（こども食堂）

最終更新日付

2025年6月23日

記載責任者

遠藤 直希

10-45 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-1 広く教育機関、企業・団体、および地域との連携・交流を図っているか	5	他団体・機関、地域、高等学校等との連携・交流を行っている。	毎年、各種委員会・講演会・講習会等へ委員、講師を派遣している。 地域団体との連携例；「プロが教える手作りおせち料理」（武蔵野市消費生活センター）、「東京しごとセンター講習会」（公益社団法人東京しごと財団主催）、「武蔵野市夏休み子どもワークショップ2024」（武蔵野市）、「芋煮会」（三鷹ファーム）、公立・私立 高等学校への講師派遣。	特になし。	・「講師依頼状」 ・「公開講座申請書（受託事業）」
10-45-2 学校の資源を活用し、生涯学習事業や附帯教育事業を行っているか	4	本校の調理実習室等施設にて、本校主催の公開講座を開催している。	本校主催の公開講座 ・二葉の健康講座一骨と筋肉の量を測ってみよう ・40才からの大人の料理教室（全3回）	授業での施設利用が優先されるため実施回数の拡大が難しい。夏休み期間の利用検討を図っていく。	・「公開講座申請書」

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-45-3 学校の施設・設備を開放するなど、地域社会と連携しているか	4	行政機関、業界団体、高等学校等と連携して調理実習室を活用した調理講習会・講演会等を実施した。	東京しごと財団他、各機関の要請に応え、講師派遣を行っている。	長期に亘る事業では授業との兼ね合いにより、実習室等の施設や教員の調整が難しい。行事年度計画との摺合せを行い、適宜スケジュール調整を行う。	・「施設利用依頼書」
10-45-4 諸外国の学校などと連携し、留学生の相互の受け入れ、共同研究・開発を行っているか	NA	行っていない。	本校は地域密着型の学校運営を標榜している。	当面、当該学校運営方針を変更するつもりはない。	特になし。
10-45-5 重要な社会問題について、学生や教職員に対し啓蒙活動を行っているか	3	必要に応じ、適宜行っている。	回覧、学内掲示、定例科内会議、メール等を通じて行政機関等の啓蒙活動に協力している。	積極的対応の必要性を認めており、今後、有効な啓蒙活動方法について検討する。	特になし。
10-45-6 学校として重要な社会問題に具体的に取り組んでいるか	4	SDGsの各目標に関連し出来る限りの取り組みをしている。	空調・照明の省エネやクールビズに積極的に取り組んでいる。ソーラーパネルの設置。 ゴミ分別、生ごみ処理機の活用によるごみの削減の取り組みも行っている。	多方面にわたる社会問題への取り組みを広げていく努力が必要。	・「二葉総合学園SDGs」(二葉総合学園ホームページに記載)

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>各種委員会等へ本校の教員を委員、講師として派遣するなど行政や学校等諸団体・機関、地域等との連携・交流を行っている。また本校の施設を活用して、行政機関等からの委託事業にも積極的に対応している。</p> <p>行政機関、業界団体、高等学校等と連携して調理実習室を活用した調理講習会・講演会等も実施し、地域社会との連携には特に配慮している。</p> <p>環境問題等の重要な社会問題（SDGs等）について、学生や教員に対して少しずつ積極的な啓発活動を行っている。適切な啓発活動方法について、今後検討する。</p> <p>現在、SDGsの各目標に関し積極的に取り組んでいる。今後は、さらに取り組みの枠を広げていく。</p>	<p>講師派遣の依頼は多いが、授業を担当しているため時間的制約があり、派遣できる教員数が限られている。卒業生や非常勤講師等の派遣依頼も、視野に入れる必要がある。</p> <p><講師派遣・本校施設活用事業等の主たる連携先></p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市 ・武蔵野市消費生活センター ・武蔵野市民社会福祉協議会 ・公益社団法人東京しごと財団 ・三鷹ファーム ・公立・私立 高等学校 <p><社会問題への取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機の活用 ・エアコン改修、クールビズ・ウォームビズの実施、ソーラーパネル設置による省エネ対策

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------

10-46 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-46-7 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	奨励・支援はできていない。依頼された際の募集ポスターの学内掲示は行っている。	学生による自主的なボランティア活動に対して、学校として適宜協力している。	学生のボランティア活動の意義は認めるが、活動時間の確保等可能性についての検討を要する。	特になし。
10-46-8 学生のボランティア活動の状況を把握しているか	3	積極的な状況把握はしていない。 学園関連のものは把握しているが、学生の自主的なボランティア活動の把握はしていない。	学生の自主的なボランティア活動については、特に届出等をさせていない。	今後、学生のボランティア活動のあり方・可能性について検討する。	特になし。

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生のボランティア活動については、活動時間の確保や安全問題など検討すべき課題があり積極的な奨励・支援態勢はとっていない。現在は、学生の自主的活動に任せている。学生のボランティア活動の可能性そのものについて今後検討する。	授業・実習が多く学生は平日、ほとんど学校に拘束されるため、ボランティア活動に積極的に取り組むことのできる時間が少ない。学校を通しての地域イベントの参画の他、こども食堂などに週末や長期休暇の際に個人的に参加する者もいる。

最終更新日付	2025年6月23日	記載責任者	遠藤 直希
--------	------------	-------	-------